

手の外科について

<日常生活で生じる症状>

手の痛みがある、手や指に力が入らない、指が伸びない・曲がらない



これらの症状は、手の外科での治療やリハビリで軽減することもあります。

<対象者>

手～肘にかけての骨・関節障害（骨折）

手指の腱損傷、ばね指、デュピュイトラン拘縮等、日常生活で生じた症状がある方

リハビリは医師の指示のもと行っており、手術後 1 日目～、または保存治療後の方に対しての運動療法が主になります。

<リハビリの目的>

患部の管理指導、自主トレーニングの指導、日常生活動作の指導

関節可動域の改善、筋力の向上、日常生活による手の使用のしやすさ向上

<リハビリでの治療方法>

可動域訓練・筋力練習（運動療法）

温熱療法、生活指導、道具を使用した機能練習